

多彩な作品350点並ぶ

県美本館・分館 県美展、15日まで

第80回記念県美展が9日、熊本市中央区の熊本県立美術館本館（洋画）と分館（その他5部門）で始まった。県在住・出身者による一般公募の入賞・入選作と、会友・会員の多彩な作品計350点が並ぶ。県美術協会主催。15日まで。

県美術協会は終戦翌年の1946年、熊本的美術文化の発展と人材育成を目的に創設。今年の一般公募には日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、デザインの6部門に154人から172点が寄せられた。

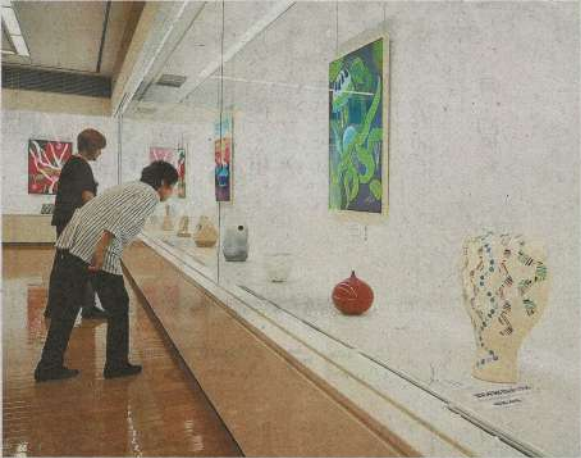
グランプリの県美大賞に輝いた文徳高教諭、梶原美和子さん(52)＝同市＝の「月の鼓動」は、平和がテ

ーマの白いハート形をしたオブジェ。月や水をイメージした模様を立体的な装飾技法「イッチン」で柔らかく表現している。

日本画部門の協会賞に選ばれた崇城大4年、米田陽稀さん(同市)の「寝る子」は、寄り添って眠る人と猫を大胆な構図ながら落着いた色彩で描写。彫刻部門の第80回記念賞、同大芸術学部教授の清島浩徳さん(57)＝同市＝の裸婦像「Silent Fortitude」は、メタリックな質感としなやかな曲面が目を引く。

今年は80回を記念し、玉名市民会館で18、21日に巡回展を開く。

(澤本麻里子)



多彩な作品が並ぶ第80回記念県美展
＝9日、熊本市中央区